

平成27年度 第6回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

1. 日 時

平成27年11月25日（水） 午後1時30分から午後2時15分

2. 場 所

下関市立市民病院 2階 講堂

3. 次 第

- (1) 開会
- (2) 議題
- (3) その他
- (4) 閉会

4. 配布資料

- ・地方独立行政法人下関市立市民病院第2期中期計画
- ・下関市立市民病院第2期中期計画に係る意見書

5. 議事録（概要） ※次頁以降

平成27年度第6回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会の議事概要

1. 開催日時

平成27年11月25日（水）13時30分～14時15分

2. 開催場所

下関市立市民病院2階講堂

3. 出席者

- ・下関市立市民病院評価委員会

弘山委員長、園田委員、杉浦委員、佐々木委員（飯野委員欠席）

- ・下関市立市民病院

田中理事長、上野副理事長、池永理事、兼安理事、吉田事務部長ほか

- ・下関市

大崎市民部長、中野市民部次長、山本病院管理課長 ほか3名

4. 内容

(1) 地方独立行政法人下関市立市民病院第2期中期計画について

- ・法人（市民病院）が策定し市に提出された地方独立行政法人下関市立市民病院第2期中期計画の内容について法人から説明

質疑応答・意見等（○委員発言 ●法人発言）

- 病床稼働率について地域医療構想の中で話し合いが行われていると思うが、市民病院については7対1看護基準である急性期と緩和ケア以外は考えていないのか？
- 7対1の病棟と緩和ケア病棟を基本と考えているが、診療報酬の改定で7対1の要件がかなり厳しくなっており、今後は看護師が確保できないということも予測して、病床の一部について地域包括ケア病床の導入も検討したい。次の診療報酬の改定までには間に合わないかもしれないが、病棟や病床ごとに看護基準を変えてやることも考えられる。
- 第2期中期計画の目標値が全般的に上がっており厳しい内容ではあるが、逆に言えばチャレンジされている内容でもあり、その点は評価したい。そ

の中で診療単価を上げていくが、現状でも高めの単価になっている。他の項目では件数を増やしていくのは分かるが、単価を上げていくための取り組みにはどのようなものを想定しているのか？

- 加算や指導料などで診療点数を上げたり、来年度に地域医療支援病院を取得できると診療単価は上がる。また、DPCに移行すると係数を上げることにより診療単価を上げることも可能である。あとは手術などで診療単価を上げていきたい。他の医療機関の数字を見てみると、決して高い数字ではないと思う。
- 地域医療支援病院は来年度に取得できるのか？
- 申請する予定であるが、現在の基準と同じであれば可能だと思う。
- がん治療については、放射線治療ではなく化学療法が中心になるのか？
- がんの化学療法は必ずしもがんの治療だけではなく、りゅうまちの治療も同じ扱いになるので、外来の化学療法の件数が増えることを予測している。
- 一般的な病院では、現在、放射線治療が多くなっていると思うが？
- 市民病院の放射線治療件数は横ばいの状況である。

(2) その他

- ・ 次回（第7回）の評価委員会で、第2期中期計画に対して委員会としての意見を取りまとめていただきたい。あわせて、来年度に実施予定の第1期中期計画に係る実施要領並びに報告書の様式等について審議していただきたい。
- ・ 次回の評価委員会は来年1月に開催させていただきたい。